

## 第3回 「北広島市住生活基本計画」策定検討委員会 会議録

日 時	平成26年11月11日(火) 9:30~11:50
会 場	市役所本庁舎2階会議室
出席委員	安藤淳一委員、麻生昌裕委員、関川修司委員、長谷川しづ委員、寺林俊夫委員、高橋孝一委員、木下信司委員、村上清志委員
欠席委員	川俣陽夫委員、高橋日出美委員
市出席者	【建築課】中島秀男課長、林 正明主査、成田淳朗主事

\*\*\*\*\*会議録\*\*\*\*\*

### 1. 開会

委員の過半数が出席していることから、委員会が成立していることを報告する。

### 2. 会議録署名委員選出

委員長より、本日の会議録署名委員については関川委員としたい旨提案があり、了承された。

### 3. 議事

- 1) 第2回作業部会及び委員会での指摘をふまえた追加調査
- 2) 住生活基本計画（素案）
- 3) 今後の予定

事務局から資料に基づいて説明した後、意見交換を行った。

#### ■第2回作業部会及び委員会での指摘をふまえた追加調査

##### ①民間事業者ヒアリング調査の実施結果について

G委員：前回検討委員会における資料では、29㎡以下の物件では他市に比べて高いものが多いとあったが、先ほどの説明と矛盾していないか。

事務局：前は、統計資料から広さに対する家賃を比較したもので、設備や築年数などの条件が加味されていない。今回はそれらも加味した事業者の経験に基づく内容であり、どちらが間違っているということではない。

J委員：売却物件の課題について、認知症高齢者の住宅は、なぜ売却が難しくなっているのか。

事務局：認知症高齢者は、自分自身で売却手続きを行うことが困難ということである。

H委員：独居の高齢者は、ある程度の年になったら施設に入っている傾向であり、家族がいて売却できる状況なら良いが、そうでない高齢者はどうすればいいのかわからない。

事務局：別居の場合、古い物件などは売り手と買い手をうまく繋ぐことができず、空き家が増えていると考える。

## ②地区別課題の整理について

G委員：大曲地区について、子育てに関する満足度が全市に比べて低いとあるが、大曲地区は新しい住宅が建ち、入居者が増加している。評価が低い理由はどのようなことなのか。

事務局：該当設問は、「子供の遊び場や公園」「子育てしやすい住宅や住環境」に関して、満足度の尺度を選択したもので、詳細な理由はわからない。

I委員：回答者の属性が地区によって異なるのではないか。

事務局：子育て世帯は、西の里地区が約2割で少なく、他の地区は概ね4～5割程度であった。

## ■住生活基本計画（素案）について

### ①北広島市の現状、課題などについて

I委員：北広島団地の人口減少が顕著で、他の地区は増加傾向と読み取れるが、これは平成22年までの結果で、それ以降の傾向は異なる。

事務局：平成22年以降は住民基本台帳上の人口を再度確認のうえ、誤解を与えないような表現に修正する。

委員長：アンケートや統計資料の地区別分析を踏まえ、全てが増えているのではなく、地区別に関する表現を追加すれば良いのではないか。

事務局：そのように修正する。

I委員：人口推計値について、今後の値は、来年の総合計画の中間見直しで検討を行う予定なので、その内容を加えてほしい。また、人口と世帯数の平成37年の推計値はどのように計算したのか。

事務局：総合計画の中間見直しについては、文言として加える。また、人口推計値は、総合計画の推計値をベースに、過去の人口増減の傾向を考慮して計算したもので、特に補正はしていない。世帯数は、この人口推計値に基づいて推計した参考値である。

J委員：国立社会保障・人口問題研究所で行った推計値が唯一使えるものではないか。

委員長：グラフについても、平成32年値までを載せることでよいか。

事務局：そのように対応する。

### ②住まい・住環境のテーマについて

委員長：住まい・住環境のテーマについて、素案に記載されている内容で良いか。

一同異議なし

### ③課題に対応した目標、施策（案）について

I委員：・この計画がある程度対外的に示すことができる内容が記述されるとありがたい。例えば、団地東部地区で、駅周辺の居住環境の整備等のニーズがあり、市で公共施設の再配置計画を行うところである。空き地利活用の計画もある。これからURと道営住宅に関することもあり、北広島市の住宅政策の観点から単に連携ではなく整備のあり方まで踏み込む必要があるのではないか。

・高齢者の住み替え支援制度はこれまでもあったが、うまく機能していない。元気な高齢者で持ち家の維持が大変な人は、札幌に移ってしまう。これらの高齢者に対して、持ち家を売ったお金で駅周辺のマンションに移ることができるように受け皿の整備を含めた仕組みが必要である。

・スマートウェルネスも理想は書きながら、高齢者の住み替えニーズと関連して、特に駅周辺の高齢者住宅等の整備を進めて住み替え支援を行うなどの具体的な内容にしたほうが良い。

**事務局**：住み替え支援及び高齢者の受け皿の整備、道営住宅やURとの絡みは、スマートウェルネス住宅等推進とも関連するので、具体策の表現を修正するとともに、重点施策にも別項目として整理する。

**J委員**：目標1方向性1について、具体策に障がい者に関する内容がない。

**事務局**：スマートウェルネス住宅推進事業の説明の中で、障がい者も含めた表現となるよう修正する。

**H委員**：サービス付高齢者住宅の活用推進とは具体的にどのようなことなのか。

**事務局**：国の施策に基づき、民間事業者と協力しながら整備を促進するということである。

**委員長**：これまでの話を受けると、具体策は今後のニーズも踏まえて更に具体的なものにすべきということだが、各目標間で重複する内容が発生し、重なるべきものが別れる可能性があるのでは。

**I委員**：どこの自治体でも話されているような一般的な内容では、内容がぼけてしまうのではないか。

**委員長**：そのようなことで、重点施策が設定されているのではないか。

**C委員**：具体策を全て盛り込むと、内容が重くなりすぎるのではないか。また、この計画はパブリックコメントで評価して、次回の委員会で意見を集約することで良いのではないか。

**I委員**：詳細な内容を全て記載してほしいということではなく、考え方、場所など具体的な語句が必要ではないか。表現は、委員会の中で話し合っていきたい。

**事務局**：提案だが、重点施策の中に具体内容を記載するとわかりやすいのではないか。

**委員長**：事務局の提案について、意義はないか。

一同異議なし

### ③重点施策（案）について

**I委員**：重点施策1は、若い世帯と子育て世帯の表現が混在し、また、移住者の表現についても検討が必要で、子育て世帯の定住促進など具体的にしたいほうが良いのではないか。子育て世帯、高齢者の住み替え促進、空き家・空き地の内容で区別したほうが整理しやすいように感じる。

**事務局**：承知した。

**委員長**：重点施策3について、内容は住環境について書かれているので、タイトルを検討してほしい。

**J委員**：今回の内容でパブリックコメントを行うことで賛成である。また、「道営住宅、URとの連携」は、基本目標2、方向性3の部分に入れたほうが良いと思う。市営住宅に限らず道営住宅、URも含めたストック形成として良いのではないか。

**事務局**：公的住宅という表現で適正な維持管理などと、表現を修正して反映する。

**B委員**：P31の定住促進制度の推進について、ファーストマイホーム支援制度の内容は、具体的すぎないか。事業の概要程度で、具体的な説明は参考資料としてまとめた方が良いのではないか。

**事務局**：検討する。

**事務局**：パブリックコメントまでの修正・精査は事務局に委ねていただき、次回、パブリックコメントが終わったもので再度協議いただきたい。

**委員長**：パブリックコメントは、本素案の状態ですることの良いか。

一同異議なし

#### ■今後の予定について

**事務局**：パブリックコメントは、12月中旬から1ヶ月間実施する予定である。1月下旬に作業部会、2月10日（火）を目処に検討委員会を開催予定で、詳細な日程は改めて調整する。

#### 4. 意見交換

事務局から、アンケート回答者の地区別属性に係る説明を行った。（説明省略）

#### 5. 閉会

委員長から閉会のあいさつがあった。